

## 貸切バスにおける初任運転者に対する指導について

### 1. 当社における当該指導の対象者

新たに雇い入れた者全員について、バスの運行を行うための知識や技術を確認、習得するために除外なく実施する。

### 2. 指導内容

以下の内容についての座学（10時間以上）、実技訓練（20時間以上）を実施する。

なお、指導においては、一般的な指導内容に弊社の過去運行で培ったドライブレコーダー映像事例等を織り交ぜて、より効果的な指導となるよう実施する。

#### 【座学指導内容】

- ・ 事業用自動車の安全な運転に関する基本的事項
- ・ 事業用自動車の構造上の特性と日常点検の方法
- ・ 運行の安全及び旅客の安全を確保するために留意すべき事項
- ・ 危険の予測及び回避
- ・ 安全性の向上を図るための装置を備える事業用自動車の適切な運転方法
- ・ ドライブレコーダーの記録を利用した運転特性の把握と是正
- ・ お客様対応、主要な乗降場所についてのルール

#### 【実技訓練指導内容】

指導員が同乗し、以下の観点を組み込んだ指導用コースを走行する。走行中はもとより走行後にドライブレコーダーの映像を確認しながら、安全な運行ができるよう指導する。

- ・ 一般道・夜間の走行
  - 出発前の危険箇所の指導、自転車・歩行者の動き、停車中の安全確認、隘路の走行、右左折時の注意点、夜間走行の注意点等
- ・ 高速道路の走行
  - ETCレーンの通過、本線への合流、排気ブレーキ等を使用した下り坂での走行方法、速度に応じた車間距離の確保、サービスエリアでの注意点等
- ・ 上り坂、下り坂の走行
  - ギヤの選択、見通しの悪いカーブ・道幅が狭いカーブでの注意点、排気ブレーキ・リターダーの活用、実車と空車の違い、フットブレーキ使用時の注意点、シフトダウンの注意点等
- ・ 乗客へのアナウンス
  - シートベルトの着用、非常口の位置と使用方法、非常ブレーキの位置と使用方法等
- ・ バス車両の特性
  - 車両の死角、発車時のアンダーミラーによる前方確認、バックカメラの特性の理解、内輪差とオーバーハング、速度に合ったギヤの選択等

上記指導実施後、乗務員として運行できるかを見極めた上で乗務員として選任する。

### 3. 指導担当者

安全統括管理者が指名した運行管理者、乗務員を指導担当者とする。



初任運転者に対する指導の様子（座学、整備、運転実技）